

平成30年度 研究プロジェクト推進経費（戦略的研究推進経費）の基本方針

1. 背景

少子高齢化が進行するなかで社会の構造や活力に大きな変化が生じており、さらに急速なグローバル化のなかで日本の国際的な存在感の低下が進んでいる。こうした状況に適切に対応するためには、イノベーティブな知とそれを生み出し駆使する人材こそがカギであり、知と人材を生み出す大学に大きな期待と厳しい眼差しが向けられている。政府・文部科学省はこうした状況を踏まえて、ミッションの再定義を通じて各国立大学に研究や教育の特色・強みを明確化してメリハリをつけた教育研究活動を展開することを要請している。

本学は、これまでの第1・2期中期目標を踏まえて、平成28年度から始まる第3期中期目標・中期計画期間において、以下のようなVisionを定めた。

“Land Grant University”の理念のもと、地域との共生・協働によって、「地域とともに豊かな未来社会をデザインする大学」を目指すとともに、本学の強みを発揮し、新しい学術領域である熱帯島嶼・海洋・医学研究の国際的な拠点として「アジア・太平洋地域の卓越した教育研究拠点となる大学」を目指す。

これらの目標の達成に資するため、平成28年度から、この研究プロジェクト推進経費（戦略的研究推進経費）をこれまでの経緯と経験を踏まえた方針に基づき、実施していくものである。

平成28年度から、特命教員（特命研究員）の雇用を可能とした、3年間のプロジェクトの募集を開始した。これは、人的資源を継続的に3年間投入することにより、本学の強化すべき特徴ある研究分野の更なる伸長を目的としている。

しかし、当該プロジェクトにより配分される経費の大部分が、特命教員（特命研究員）の人件費として使用されることが予想されるため、プロジェクト実施にかかる研究費については、学内外の競争的資金を獲得・活用されたい。

2. 基本的視点

本学は沖縄県唯一の総合大学として、1) 人類普遍の価値である科学・学術の幅広い研究、およびそれを基礎にした教育・人材育成ならびに地域貢献を行うとともに、2) 歴史的・文化的・社会的・自然的な地域特性に基づく特徴ある研究活動を、全国さらには世界の先頭に立って進めるよう戦略的に強化する。本研究プロジェクト推進経費（戦略的研究推進経費）においては、後者に全学的・中長期的視点から戦略的に取り組む。

3. 強化すべき特徴ある研究分野

本学の歴史的・文化的・社会的・自然的な地域特性、ならびにこれまでの経緯と実績を踏まえ、以下のようなキーワードで示される本学を特徴づける研究領域を強化の対象とする。

- (1) 研究領域1：島嶼，琉球・沖縄，国際多文化・平和共生などをキーワードとする人文社会科学を中心とする分野
- (2) 研究領域2：熱帯・亜熱帯，海洋，サンゴ礁，島嶼生物多様性，島嶼防災などをキーワード

とする自然科学を中心とする分野

(3) 研究領域3：健康長寿，長寿社会の復活などをキーワードとする広義の医学・保健・福祉健康科学を中心とする分野

(4) 萌芽研究：上記(1)－(3)の分野及び新たなピーク形成を目指す萌芽的研究

4. 支援内容

研究費支援としては、科研費をはじめ他の研究助成事業が存在することに鑑み、特徴ある研究分野の強化を促す支援を行う。具体的には、上記の研究領域1－3において、研究を格段に進めようとするプロジェクトおよびそれらに続くピーク形成を目指す萌芽的研究プロジェクトを支援。

5. 募集方針

(1) 上記のことを明示した学内公募を行い、研究代表者からの申請を受付ける。

(2) 研究期間は以下のとおりとする。

①研究領域1－3のうち特命教員（特命研究員）を雇用するものについては、平成33年3月31日までとする。

②研究領域1－3のうち特命教員（特命研究員）を雇用しないものについては、平成31年3月31日までとする。

③萌芽研究については、平成31年3月31日までとする。

(3) 経費の目安は以下のとおりとする。

①研究領域1－3のうち特命教員を雇用するものについては、1件あたり500－800万円／年

②研究領域1－3のうち特命教員を雇用しないものについては、1件あたり500－1,000万円

③萌芽研究については1件あたり100－200万円

6. 申請方法

研究代表者が研究実施責任者として関連部局等と相談して研究実施計画を立案し、研究代表者が所属する部局等の長を研究総括責任者として申請する。

7. 選考方法

申請課題については、趣旨に沿う形で別に定める評価基準に基づいて研究推進会議が審査を行い、申請課題内や申請課題間の調整の必要性についても検討する。研究推進会議での審査・検討の結果に基づき、役員会がプロジェクトの採否及び配分額を決定のうえ配分する。

8. プロジェクトの進捗確認・評価

プロジェクトの進捗については、研究推進会議が責任をもって確認・評価等を行う。